

中津日田道路・中津市山国町～日田市間の環境調査について

土木建築部道路課 H25. 2. 19

中津日田道路については、昨年3月に本耶馬溪耶馬溪道路5kmの供用を開始し、東九州自動車道の供用に合わせるべく整備中の中津三光道路3kmについても、昨年用地取得を完了し中津と三光を結ぶ城山トンネルも貫通するなど、平成26年度供用の目処がついたところです。

未着手の約20km間のうち、日田側の約10km間（中津市山国町～日田市）については、調査区間の指定を国から受けています。

現在、日田市渡里から三和までの国道212号では、日田拡幅工区で4車線化事業を実施中です。日田市三和から奥耶馬トンネルを越えた山国町守実までの約8km間を新たに自動車専用道路で整備し、当面は中津日田道路を4車線化される国道212号につなげたいと考えています。

そのため、平成25年度当初予算案に本格的な環境調査の費用を計上しました。

春から大分県環境配慮推進要綱に基づき環境調査を始め、その結果や地元の意見も参考にしながら今後ルートを定め、早期の事業化を目指します。

調査概要

- 調査期間 ・平成25年春季～冬季
- 自然環境調査 ・動植物（ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類、クモ類、魚類、底生生物、植物相、植生）及び生態系について、絶滅危惧種や希少種の存在を確認するため、基本的に四季調査を実施
- 生活環境調査 ・工事中や供用後の騒音や振動、水質への影響について調査、予測
- 調査範囲 ・現道の国道212号に並行した延長約8km、幅約3km程度（別紙「中津日田道路環境調査範囲」参照）
- 調査費 ・（単）道路橋梁調査費に環境影響調査費用36百万円を計上

今後の進め方

- ・環境調査と並行し、地元の方々に山国町から日田間のルートなどについて意見を聴取する予定。
- ・その後、環境調査の結果や地元の方々の意見を参考に、ルートの決定や環境影響評価を行い、それらが完了すれば直ちに、新規事業評価や国への補助事業の新規採択を要望する予定。

道路課 企画調査班 高橋、岸元(内4575)